

マイクロ波ミリ波技術は、携帯電話、無線 LAN などの無線通信応用のみならずレーダ・センサー技術、無線電力伝送を含むエネルギー応用など多岐にわたる分野において展開されています。IoT, 5G だけでなくポスト 5G など更なる社会基盤の高度化を目指し、マイクロ波・ミリ波帯、更にテラヘルツ帯に及ぶ幅広い周波数帯において一層高度なデバイス・回路・システム技術の研究開発が進められています。このような背景のもと、和文論文誌 C 分冊では、大学等の教育研究機関における基礎的研究、産業界における基盤・実用化研究、あるいは産官学連携共同研究等の成果をまとめる「マイクロ波ミリ波論文特集」（2023 年 1 月）の発行を企画致しました。本特集は、マイクロ波・ミリ波・テラヘルツ技術の基礎研究から応用研究、実用化技術にわたる優れた研究成果を発掘し、産業界をはじめとする幅広い分野の方々に紹介すると共に、学生の方々にも論文投稿の機会を提供するものです。対象分野は、回路・アンテナ・電波応用システム・シミュレーション技術・測定評価技術などマイクロ波・ミリ波・テラヘルツ技術全般としていますので、皆様からの積極的な御投稿を期待しております。

1. 対象分野

マイクロ波・ミリ波・テラヘルツ技術全般が対象で、トピックスの一例を以下に示しますが、これらに限定するものではありません。

- ・能動回路・受動回路・アンテナ
- ・デバイス技術
- ・電波応用システム
- ・測定評価技術
- ・シミュレーション、モデリング技術
- ・無線電力伝送
- ・メタマテリアル、メタサーフェス
- ・マイクロ波・ミリ波応用

2. 論文の執筆と取扱い

通常の和文論文誌と同様とし、論文は刷り上がりページ数 8 頁程度、ショートノートは 2 頁程度とします。執筆の詳細は、「和文論文誌 C 投稿のしおり」https://www.ieice.org/jpn/shiori/es_mokuji.html を御参照下さい。なお、査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する必要があることをあらかじめ御了承下さい。著者全員が非会員でも投稿が可能になりました。ただし、非会員掲載料が適用されます。

3. 論文投稿締切日 2022 年 3 月 31 日（木）厳守

掲載料支払期限：2022 年 9 月 22 日（木）

※掲載料前払い制導入に伴い、上記の支払期限が設けられておりますので御注意下さい。

詳細は以下 URL を御参照下さい。

https://www.ieice.org/jpn/shiori/es_6-10.html

4. 論文投稿方法

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイル並びに編集用電子ファイルを登録し、WEB 上で著作権譲渡手続きを進めて下さい。投稿手続きについて御不明な点がございましたら、学会事務局まで御連絡下さい。

【学会事務局連絡先】

一般社団法人電子情報通信学会 会員サービス部論文課

E-mail : wabun-c@ieice.org

5. 問合せ先

陳 春平 神奈川大学, 柴田幸司 八戸工業大学

E-mail : chen@kanagawa-u.ac.jp, shibata@hi-tech.ac.jp

6. 特集編集委員会

委員長 上田哲也（京都工繊大）

幹事 陳 春平（神奈川大）、柴田幸司（八戸工大）

編集委員 石川 亮（電通大）、清水隆志（宇都宮大）、須賀良介（青山学院大）、高野恭弥（東京理科大）、田村昌也（豊橋技科大）、花澤理宏（UL Japan）、平野拓一（東京都市大）、福田敦史（NTT ドコモ）、丸山珠美（函館高専）